

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成28年度第1回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	平成28年12月5日（月） 午後1時30分～午後3時15分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階
出席委員の氏名又は人数	17名
欠席委員の氏名又は人数	2名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー7名、事務局4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 平成28年度実施内容について 2 成果指標の設定について 3 意見交換
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） 本会議も7年目を迎え、第4期として委員に御就任いただき御礼申し上げます。 5年間で圏域人口が5%減少しているのが現実である。地方への人口定着を目指して、北播磨広域定住自立圏を形成したが、残念ながら、市民の皆さんに取組が見えにくい現状がある。今後、暮らしやすい圏域が実現するよう、連携を深めていく必要がある。 本日は、今年度の実施内容、成果指標の設定について説明させていただくので、それぞれの立場から御意見をいた</p>
事務局	
西脇市長	

	<p>だきたい。</p>
事務局	<p>(委員等出席者の紹介) 名簿に基づき、自己紹介</p>
事務局	<p>(会長・副会長の選出) 北はりま共生ビジョン会議条例の規定に基づき、浅野委員を会長に、藤田委員を副会長に選出</p> <p>(以後の進行を浅野会長に依頼)</p>
会長	<p>北はりま定住自立圏共生ビジョン会議運営要綱について定住自立圏構想の概要について、事務局から説明いただきたい。</p>
事務局	<p>会議資料に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>報告事項の① 平成 28 年度実施内容について、事務局から説明いただきたい。</p>
事務局	<p>会議資料に基づき、事務局から説明</p>
委員	<p>13 番の子育て支援事業について、両市町で、西脇多可で、北播磨広域定住自立圏で、3層にわたってやるのか。</p>
事務局	<p>両市町で実施するイベント等を情報共有し、参加機会を増やす。3市1町の北播磨広域では、虐待プログラムについて加東市を中心に広げる。連携事業の内容が違う。</p>
会長	<p>それぞれの特性、段階を活かして、役割分担をしながら実施するのか。</p>
事務局	<p>子育て支援については、圏域の特性を活かし、連携事業の内容の棲み分けをしていきたい。</p>
会長	<p>報告事項の② 成果指標の設定について、事務局から説明いただきたい。</p>
事務局	<p>会議資料に基づき、事務局から説明</p>

会 長	今年度中に事業単位で設定されるのか。
事務局	事業単位もしくは一つ上の施策単位でのどちらかでの設定を考えている。
会 長	人口などの指標も設定されるのか。
事務局	人口の指標については、ビジョンの数値目標として設定させていただき予定である。
会 長	指標の報告いただく会議があるのか。
事務局	今年度末の3月に会議を開かせていただく中で、御意見を頂戴したい。
副会長	(意見交換) 圏域の将来像である『うるおいとやすらぎを感じる暮らし豊かな北はりまの郷』の“うるおい”“やすらぎ”を感じるとはどのようなイメージか。
事務局	明確な定義はしづらいが、“やすらぎ”とは、暮らしやすさや安心、“うるおい”とは、活動しやすいやのびのびといった感じでないか。そのような“やすらぎ”や“うるおい”を感じ取れる圏域を目指して将来像を設定している。
委 員	小児医療を守る活動は西脇市が中心で、多可町では不十分である。小児医療のかかり方をまとめた冊子を多可町で配布したが、人と人との交流が課題で何かしたいという思いがある。 多可町では、西脇病院も遠く感じられ小児医療に不安を抱かれているのではないか。多可町の方の声を聞いてみたい。何か歩み寄れたら、定住自立圏の取組が生きるのではとの思いがある。
委 員	自宅で終末を迎えるように体制が整いつつある。担当医が訪問できないときに他の医者に連絡がいき、自宅に訪問する仕組みができつつある。高齢者への支援や手当が中心

	<p>で子育てや子ども向けは手が回らないというのが実情である。</p>
委員	<p>スポーツイベントとして、毎年2月に開催する西脇多可新人高校駅伝競走大会がある。今年は、西脇工業高校がアベックで全国大会に出場し、良い影響があったのではないか。文化スポーツ交流事業は高く評価してもらっているのではないか。今後とも行政の御支援を賜りたい。</p> <p>施設の供用、共有について、お互いの施設を共有すれば、経費節減になると思う。施設の共有については、長らく検討されているが、どうなっているのかお教えいただきたい。</p>
担当者	<p>それぞれの施設の老朽化が進んでいる。公共施設の適正管理という意味では削減の方向にいくであろう。人口減少の中での施設の維持管理には相当の費用が必要である。昭和57年以前の建築については、耐震化対応など施設の今後について検討が必要である。西脇、多可、それぞれ施設の在り方を検討しているところである。共有を含め今後の施設の在り方を考えなければならないと思っている。</p> <p>施設を核とした文化振興の観点からも、施設の在り方を考える必要がある。</p>
委員	<p>多可町によい施設があるので、文化の視点でもご検討いただきたい。</p>
委員	<p>共生ビジョンの23ページ。第一次ビジョンの検証で、文化スポーツイベント交流事業が評価Bとなっている。これまでから、西脇、多可それぞれイベントを実施し、情報共有が図られ交流が進んでいると思うので、この評価の内容は。</p>
事務局	<p>担当者連絡会の設置運営が進捗しなかったことで、B評価とした。交流事業は順調に進んでいると評価している。</p>
委員	<p>シカの被害がひどくなっている。アライグマの被害もでている。獣害の対策がどうなっているのか。</p>
事務局	<p>鳥獣被害対策については、北播磨広域定住自立圏で位置</p>

	付けている。
担当者	シカの有効活用については、加工施設があり加工している。また、民間によって、ドッグフードへの加工も行っている。
委員	成果指標は、多可町・西脇市のそれぞれで定めるのか。
事務局	基本は圏域で一つの指標を設定したいが、既存の指標の活用を考えており、それぞれになることもありえる。
委員	その中で、スケールメリットを活かした指標を設定されるということか。
事務局	北播磨広域定住自立圏でも指標が設定される。圏域で位置付けられる事業は、圏域特性を踏まえて位置付けられ、その事業にそれぞれ成果指標が設定される。
委員	18番の担い手育成事業。専業農家が200件（全世帯数の1%）であり、現在ますます減少している。農用地利用の円滑化だけで歯止めできるか危惧している。食べていける専業農家を育てることを圏域で検討する必要がある。
担当者	農地の集積だけでは、地域農業の自立は難しいということは把握している。集約型というか、施設を使って儲かる農業を進めていく必要がある。西脇市も多可町も土地利用型だけでなく、施設利用も支援していく必要がある。共生ビジョンには十分には記載できていないが、必要性は認識している。
委員	へそゴマの生産量が4トンから1トンに減少したと聞いている。集落全体で農用地を案分していくことを考えていかないと、ブランド化の維持は難しい。
委員	38番の移住定住促進事業。先日、加美区に移住された方とお話しした。出迎えてくださり、お話を聞いて、加美区の良さを感じた。百日地鶏のお店をやりたいと言われていた。 百日地鶏カレーをお披露目した。大きな未来があって、

	<p>J Aみのりとの共同開発にこだわった。地域で産業を確立していくためには、農協と協力することが大事。この会議の中に農協がないのが残念である。農協は組織が大きいので分かり合えないところも多いが、人と人との関わりから話が進むと思うので、農協という組織ではなく、人と人との関わりから大切にするとよいと思う。</p>
会 長	移住者（Uターン、Iターン）の実績は
事務局	西脇市の平成 27 年度実績は、9 人。
委 員	<p>日ごろから、西脇市、多可町の中で連携を深められているようだ。コミュニティバスの運行再編なども円滑に進むのではないかと考えており、行政に感謝したい。</p> <p>西脇市から京阪神に向かうバスの乗客数が少ない。本数にも影響が出てくるのを懸念している。乗務員の人材不足が問題になっている。通勤に時間をかけている者もいる。地元での採用ができればと思っている。</p>
委 員	<p>バスを見ると乗客を見かけない。車がないと生きていけない世の中となっている。公共交通機関をどうしていくか課題である。高齢者数は今がピークで、しばらく横ばいとみている。カーシェアリング、ドライブシェアなど、地域の移動手段も定住自立圏の取組としてもよいのではないか。観光も同じ課題がある。</p>
担当者	<p>少子高齢化が進む中で、高齢者の車の事故が増えている状況にある。免許を返納したらどうなるのか、との意見を頂戴する。西脇市と多可町で地域事情が違う中で、検討しなければならない。西脇市では、平成 32 年度に庁舎が完成し、庁舎の隣にバスの営業所がある。そこを拠点に公共交通の在り方を検討していきたい。多可町とも連携を常にとっている。先進地を共に視察に行った。時期をあわせて計画を立てていくことも調整している。</p>
委 員	<p>公共交通だけで地域の移動手段を確保することは難しいと感じている。カーシェアリングなど、先進的な取組の検討が必要。移動は生活のベースになる。積極的に検討してほしい。</p>

<p>委員</p>	<p>最近では、多可町に 110 万人くらい来てくれている。そろそろピークではないか。これ以上期待しても無理なのか。中身で勝負し、自然をいかに P R するか。都心部の方に伝えていきたい。</p> <p>昨年、3 市 1 町で登山マップを作製した。冊子がなくなるほど盛況。多可町は癒されるとの感想をいただく。自然を大事にしながら、受け継いでいく必要がある。多可町は水に恵まれ、おいしいお米もとれる。加古川へきれいな水を流していきたいし、そういうことを担ってくれる子どもを育てていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>田園空間博物館で神戸や明石から来られた方のボランティア案内をしている。西脇にこんなにもいいところ、おいしいものがあるのか、との感想を聞く。バスがなく市内の移動ができない。例えば、紅葉の季節に、へそ公園から西林寺まで行けない。何か方法があれば移動できるのに。帰ってくる子どもがいない。就職する場所がないから。若い人たちが帰ってきて、ここに住みたいと思ってもらえるような街にしたい。協力もしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>2 点要望する。</p> <p>24 番のごみ処理事業。ごみの減量化に取り組まれているが、みどり園の焼却炉が 8 年後にはなくなるので、早く計画を示してほしい。</p> <p>27 番の上下水道基盤強化学業。住民が減ると、上下水道の維持費が高つく。施設の集約なども必要であろう。管路の更新などにもお金がかかる。十分検討してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢化社会になり、若い人が出ていったら帰ってこない。帰ってきて就職する場所がない。高齢化が進み、施設や病院に入り、空き家が増えている。民という立場では助成ができないし、官という立場では財源がないし、強制代執行をできず、現在、抱えている課題である。</p>
<p>委員</p>	<p>地域の活性化のために地域ブランドを立ち上げることが大変大事である。加美区は播州百日地鶏。肥育農家が高齢化し、新規就農がゼロ、やめていく人が増えている。先人が築いてきたブランドがなくなるのではないかと危惧して</p>

	<p>いる。ふるさと納税のお礼品として使っているが、後継者がいないことが一番の問題である。より積極的に行政として後継者の育成に力を入れてほしい。</p>
<p>会 長</p>	<p>意見を活かしてほしい。課題は複合化しているので、行政の腕の見せ所である。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務連絡)</p> <p>今後、それぞれの分野において、西脇市、多可町で連携しながら、検討していきたい。</p> <p>次回の会議は、成果指標についてご意見を頂戴する会議を設定したいと考えている。時期は、年度末頃になろうかと思う。日程は、決まり次第お知らせするので、よろしく願います。</p>
<p>多可町長</p>	<p>(閉会あいさつ)</p> <p>貴重な意見にお礼申し上げます。</p> <p>全国で112の圏域が形成されている。中にはお金につられた地域もあるだろうが、北はりま定住自立圏は前向きに取り組んだ圏域である。行政間において、いろいろな部分で共同化ができていたことが背景にあった上に、さらに何が必要かという視点で取組が進んだ。</p> <p>医療の分野で、多可町は西脇市からかなり助けてもらう必要があると思っている。開業医の高齢化が進み、どうしたらいいのか、副会長のご意見をいただきたいと思っている。</p> <p>来られた方の移動手段の確保は課題である。カーシェアリング、ウーバーなども考える必要がある。</p> <p>地域を持続的にするには夢を持つ必要があるが、その部分が少なくなってきている。</p> <p>指数化については疑問を少し持っている。合理性、効率性だけで地域は守れるのか、という思いがある。</p> <p>上水道の問題。上水道については県の方で懇話会が立ち上がり、間もなく最終報告がまとまる。田舎の料金を上げなくても維持する方法などを検討している。下水の研究会も立ち上がると思う。</p> <p>みどり園の問題。西脇市の地元の方にご迷惑をおかけし、非常に心苦しい思いがある。新しい施設については、西脇市と協力しながら、適地を探していきたいと思ってい</p>

	<p>る。早急に対応させていただきたい。</p> <p>文化スポーツ施設の共有の問題。ベルディホールは、西脇市民の方に使っていただければ嬉しい。図書は進んでいる。西脇市と多可町が合併していたらどのような施設の姿になっていたか、念頭に置き考えていくべきかなと思う。</p> <p>ご意見を参考にさせていただき、まちづくり、圏域の発展につなげたい。</p> <p>(閉会)</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>